

2008年生田緑地ゲンジボタル調査報告

亀岡千佳子*¹ 新村 治*²

The report of the firefly at Ikuta-Ryokuchi Park in 2008

Chikako Kameoka *¹ Osamu Nimura *²

1 はじめに

青少年科学館では1983年～1987年・川崎市自然環境調査Iの水生昆虫調査で生田緑地の谷間の探勝路にゲンジボタルの幼虫が生息し、5月下旬頃から7月初旬頃まで成虫も多数発生していることが確認された。以来生田緑地のホタルについて注目し、ピーク時のみの発生数の確認作業を行い、1993年の青少年科学館紀要で木下が観察記録を発表している。その後、生田緑地内にはゲンジボタルを含め6種のホタル、ムネクリイロボタル、カタモンミナミボタル、ヘイケボタル、オバボタル、スジグロボタル(林1991)、クロマドボタル(川田・岩田・高橋・昆虫班1995)が確認されている。

1998年からはゲンジボタル成虫の初見日～終息日までの発生カウント調査をおこなっている。2008年で11年目になる。また、併せてスジグロボタルの幼虫の発光確認作業もおこなっている。調査は館職員と、2002年度から調査に加わってくれたホタル調査員の皆さん、今年より小学校理科教育研究会の先生方も調査に参加した。2008年の調査結果がまとまったので報告する。

2 調査方法

設定した調査日の19時に青少年科学館に調査者が集合し、19時30分までに調査者を調査場所に向かわせ、19時30分から19時50分までの20分間に目視により発光を確認したホタル数を記録した。調査者が足りず、調査場所に調査者を張りつけることが出来ないときは、20分間に調査場所を巡回し調査した。数人で調査した場合、個人によりカウント数にばらつきが生じたが、その場で協議し、概ね平均数を記録した。記録は発行ホタル数の他に調査時の天気と気温を調査票に記入した。また、調査場所は昨年発生が確認された5ヶ所と、以前に発生が確認されていたが現在は確認されていない場所の3ヶ所をくわえて8ヶ所とした。

3 調査期間

生田緑地の成虫初見日は過去5年間(2003年6月1日、2004年6月5日、2005年6月11日、2006年6月6日、2007年6月9日)の初見日を考慮し、調査開始日を5月31日からとした。調査終了日は、過去5年間の終息日(2003年7月13日、2004年7月4日、2005年7月16日、2006年7月13日、2007年7月8日)を考慮し7月15日とした。ただし、成虫発生が7月15日を過ぎる場合は、それ以降も発生が終息するまで調査を行うこととした。

4 調査場所

- ① 駐車場奥
- ② 奥の池
- ③ 奥の池南側谷戸
- ④ 旧岡本谷戸
- ⑤ 科学館奥
- ⑥ マレーゼの谷(戸隠谷戸)
- ⑦ 湿地帯下休耕田(ホタルの里)
- ⑧ 谷間の探勝路(木道)

の8ヶ所

5 調査参加者

新村 治	成川 秀幸	津田 由美子
重井 美香	甲谷 保和	米倉 竜司
國司 眞	門馬 清	門馬 菜穂実
須藤 和照	小川 信治	野原 博人
亀岡 千佳子		

(13名)

延べ調査者数 76名

*1 青少年科学館 *2 ホタル調査員

6 調査結果

調査結果は表 1

天気は調査時、気温は調査日の 20 時のもの。

7 まとめ

- 2008 年の成虫発生時期は初見日が 6 月 6 日、終息日は 7 月 17 日であった。
- 初見日の場所は 6 月 6 日、⑦湿地帯下休耕田（ホタルの里）4、最終確認は 7 月 17 日⑦湿地帯下休耕田（ホタルの里）1 であった。
- 緑地全体の延べ発生数は 744 匹であった。2007 年より約 20%増加し、1998 年から 2007 年までの延べ発生数の平均値 643 匹より 15%の増加になった。
- 2008 年も②奥の池、③奥の池南側谷戸、④旧岡本谷戸、ではホタルの発生数は確認できなかった。⑥マレーゼの谷（戸隠谷戸）では家屋が建っていた場所からもホタルの発生は確認できなかった。
- 延べ発生数は①駐車場奥 181、⑤科学館奥 66、⑦ホタルの里 269、⑧谷間の探勝路 228 であった。科学館奥では減少したが、他の場所では増えた。特に、駐車場奥は昨年の約 2 倍になった。
- 各調査場所の 1 日の最多確認数は、①駐車場奥(67)6 月 24 日、②奥の池(確認されず)、③奥の池南側谷戸(確認されず)、④旧岡本谷戸(確認されず)、⑤科学館奥(26)6 月 24 日、⑥マレーゼの谷(戸隠谷戸)(確認されず)、⑦湿地帯下休耕田(ホタルの里)(63)6 月 24 日、⑧谷間の探勝路(木道)(84)6 月 24 日であった。
- 今年の発生数のピークは生田緑地全体では 6 月 24 日だった。
- 2008 年の調査および 1998 年から 2007 年の生田緑地のゲンジボタルの発生について概観する。2008 年は初見日が 6 月 6 日、1998 年～2007 年の初見日の平均日 6 月 5 日より 1 日遅かった。発生数のピークは 6 月 24 日、1998 年～2007 年のピークの平均日 6 月 24 日と同じであった。終息日は 7 月 17 日と 1999 年の 7 月 23 日、2000 年 7 月 22 日について過去 3 番目に遅くなった。

1999 年から減少していたホタル延べ発生数は、2005 年に 2004 年と同数になり減少傾向にストップがかかったが、2006 年は減少した。しかし、2007 年は約 2 倍以上増加し、2008 年も増加している。特に駐車場奥は谷の上部の四阿までホタルが飛び交っており、発生数は約 2 倍に増加した。ホタルは約 7 年周期で自然増減を繰り返すと言われている。2007 年、2008 年と 2 年続けてホタルの発生数は増加した。これは発生数の下げ止まりになるのか、来年度も引き続き注意をしていかな

ければならない。

終わりに、暑くて多忙な中、青少年科学館に立ち寄り、ボランティアとして調査に協力して下さった沢山の方々、また調査を支えて下さった科学館スタッフの皆さんに厚く感謝申し上げます。

表1

2008年 生田緑地ホタル調査結果表

月	日	曜日	天気	気温	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	備考
5	31	土	雨	13.2	—	—	—	—	—	—	—	—	中止
6	1	日	曇り	18.2	—	—	—	—	0	—	0	0	
	3	火	雨	14.8	—	—	—	—	—	—	—	—	中止
	5	木	雨	17.8	—	—	—	—	—	—	—	—	中止
	6	金	晴れ	20.3	—	—	—	—	0	—	4	0	
	8	日	曇	21.9	0	0	0	—	0	—	4	1	
	10	火	快晴	21.1	0	0	0	—	0	0	9	3	
	12	木	晴れ	15.6	0	0	0	0	0	0	1	1	
	15	日	晴れ	20.4	2	0	0	0	3	0	16	3	
	17	火	曇	21.3	2	0	0	0	6	0	15	8	
	19	木	曇	23.3	11	0	0	0	12	0	32	18	
	22	日	雨	19.4	—	—	—	—	—	—	—	—	中止
	24	火	快晴	22.4	67	0	0	0	26	0	63	84	
	26	木	曇	15.8	10	—	0	—	4	0	9	10	
	28	土	曇	22.2	32	0	0	0	8	0	46	58	
7	1	火	曇	21.3	20	—	—	—	4	0	22	15	
	3	木	快晴	23.7	25	—	—	—	1	0	24	20	
	6	日	曇	25.7	10	0	0	0	2	0	21	5	
	8	火	雨	22.7	—	—	—	—	—	—	—	—	中止
	10	木	曇	23.4	2	—	—	—	0	0	1	0	
	12	土	曇	23.8	0	—	—	—	0	—	1	1	
	15	火	曇	25.8	0	—	—	—	—	—	0	0	
	17	木	晴れ	27.3	—	—	—	—	—	—	1	1	
	20	日	曇	26.4	—	—	—	—	—	—	0	0	
	21	月	曇	26.6	—	—	—	—	—	—	0	0	